

⑨ニホンジカ個体数調整実証事業

ニホンジカによる生態系被害を抑制するため、鳥獣保護区内で個体数調整を目的とした捕獲を実施します。

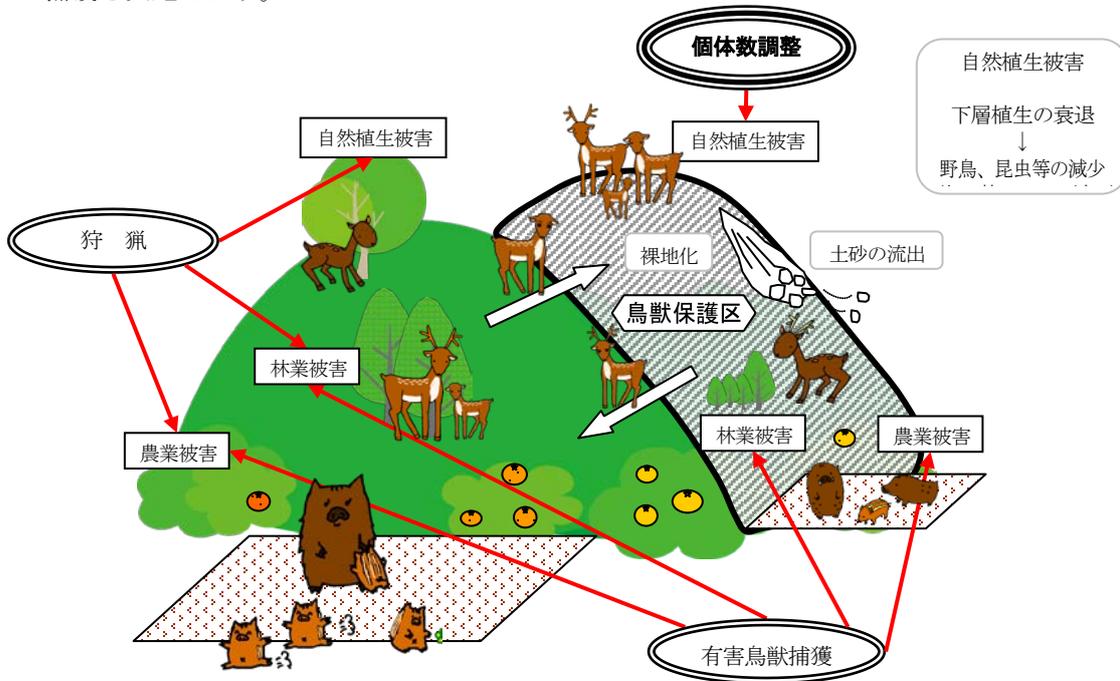
1 ポイント

近年、鳥獣保護区内において、ニホンジカによる森林植生への被害が増加し、枯死や裸地化による土壌の流出などの問題が生じています。

そこで、これらの被害を抑制し、健全な森林植生への回復を促進することにより、森林の有する公益的機能の発揮を図るとともに、林業被害の防止や生物多様性の保全に資するため、個体数調整によるニホンジカの捕獲をモデル的に実施し、その効果を実証するとともに、成果を他の地域へと普及することとしています。

2 事業内容

ニホンジカによる森林植生への被害が大きく、早急な被害対策が必要である、篠山鳥獣保護区（宇和島市）、滑床成川鳥獣保護区（宇和島市・鬼北町・松野町）において、個体数調整を目的としたニホンジカの捕獲を実施します。



3 平成26年度実績額

1,566千円（全体事業費 1,566千円）



滑床成川鳥獣保護区

4 事業期間

平成 24 年度 ～ 平成 26 年度

5 全体計画

事業内容		H22	H23	H24	H25	H26	計
計画	捕獲従事者数 (延べ)	—	—	100人	90人	80人	270人
	事業費	—	—	1,793 千円	1,600 千円	1,600 千円	4,993千円
	うち森林環境税	—	—	1,793 千円	1,600 千円	1,600 千円	4,993千円
実績	捕獲従事者数 (延べ)	—	—	166人	178人	167人	511人
	事業費	—	—	1,612 千円	1,527 千円	1,566 千円	4,683千円
	うち森林環境税	—	—	1,612 千円	1,527 千円	1,566 千円	4,683千円
実施箇所		—	—	篠山鳥獣保護区 (218ha) 滑床成川鳥獣保護区 (2,076ha)	篠山鳥獣保護区 (218ha) 滑床成川鳥獣保護区 (1,921ha)	篠山鳥獣保護区 (218ha) 滑床成川鳥獣保護区 (1,921ha)	

⑩ 森林吸収クレジット販売促進事業

森林資源を活用した新たな環境ビジネスの構築と低炭素社会の構築を目指すため、カーボン・オフセットの仕組みに用いられる森林吸収クレジットの普及啓発及び販売促進活動を実施しました。

1 ポイント

県では、平成22年度から24年度までの3カ年間、地球温暖化対策の一つである環境省のオフセット・クレジット（J-VER）制度に取り組む市町や森林組合等を支援し、これまでに約4万t-CO₂の森林吸収クレジットが県内で創出される運びとなりました。

そこで、これら県内で創出された森林吸収クレジットの販路を開拓し、クレジットの販売により得られた資金を森林整備等に還元することで、持続可能な森林経営が行えるような仕組みづくりを推進し、新たな環境ビジネスの構築と低炭素社会の構築を目指します。

2 事業内容

事業名	事業内容
オフセット・クレジット（J-VER）販売促進事業	森林吸収クレジットの販売促進を図る目的で、市町やクレジットの創出者等により設立された協議会の活動に係る経費の一部を支援した。
カーボン・オフセット制度普及啓発事業	カーボン・オフセット制度の普及啓発を図るため、企業や一般県民を対象にしたPR活動を行った。
四国4県連携カーボン・オフセット推進事業	四国4県が連携してカーボン・オフセットの取組を推進を図るとともに、全国を視野に入れた森林吸収クレジットの活用と販路拡大策について検討した。

3 平成26年度実績

(1) 実績額 993千円

(2) 事業内容

		
横浜環境価値活用セミナーへのブース出展(神奈川県横浜市)	カーボン・オフセット推進研修会の開催(松山市:テクノプラザ愛媛)	四国4県連携協議会の実施(高知県高知市)

4 全体計画

事業内容		H25実績	H26実績	計
計画	オフセット・クレジット（J-VER）販売促進事業	協議会の開催 2回	協議会の開催 2回	協議会の開催 4回
	カーボン・オフセット制度普及啓発事業	企業等訪問 3回	企業等訪問 5回	企業等訪問 8回
	四国4県連携カーボン・オフセット推進事業	四国4県連携協議会の開催 3回	四国4県連携協議会の開催 3回	四国4県連携協議会の開催 6回
	事業費	1,544千円	1,100千円	2,644千円
	うち森林環境税	1,544千円	1,100千円	2,644千円
実績	オフセット・クレジット（J-VER）販売促進事業	協議会の開催 3回	協議会の開催 2回	協議会の開催 5回
	カーボン・オフセット制度普及啓発事業	企業等訪問 3回	企業等訪問 5回	企業等訪問 8回
	四国4県連携カーボン・オフセット推進事業	四国4県連携協議会の開催 3回	四国4県連携協議会の開催 3回	四国4県連携協議会の開催 6回
	事業費	1,395千円	993千円	2,388千円
	うち森林環境税	1,395千円	993千円	2,388千円
実施箇所		東京国際フォーラム 高知県高知市 愛媛県武道館	テクノプラザ愛媛 高知県高知市 パシフィコ横浜 東京国際フォーラム 大田区産業プラザ	同左

⑪ 林業躍進プロジェクト推進事業

これまでの間伐に加えて、主伐を計画的・段階的に導入することで県産材の増産を図り、県内木材加工業等へ安定供給し、業界の競争力を向上させるなど関連産業を振興するとともに、低コスト化技術の開発や担い手の育成などにより、森林資源の循環利用と山村地域の雇用を拡大し、林業を地域の成長産業へ育成する「林業躍進プロジェクト」を進めることとします。

1 ポイント

主伐を計画的・段階的に導入し県産材を増産することで、林業を地域の成長産業として育成するために、関係市町及び森林所有者、森林組合、製材・加工・流通業者等を対象に林業躍進プロジェクトの進行管理等を行う推進会議を行います。また、平成23年3月に策定した「えひめ森林・林業振興プラン」を推進するため、プランの目標や今までの取組みの検証、さらには次期プランの施策の展開方向等を検討するためのプロジェクトチーム検討会の開催や、森林・林業・木材産業の現状を把握するための調査を行います。

2 事業内容

事業名	事業内容
(1) 林業躍進プロジェクト推進会議の開催	各地域における推進会議の開催 (参集者：市町長、森林林業関係者)
(2) えひめ森林・林業振興プラン実行管理事業	えひめ森林・林業振興プランプロジェクトチーム検討会の開催
(3) 森林・林業・木材産業現状調査事業	森林・林業の現状把握調査

3 平成26年度実績額

109千円(全体事業費286千円)

4 事業期間 平成26年度

5 全体計画

事業内容		H26	計
計画	林業躍進プロジェクト推進会議の開催	4回	4回
	えひめ森林・林業振興プラン実行管理事業	2回	2回
	森林・林業・木材産業現状調査事業	9箇所	9箇所
	事業費(千円)	399	399
	うち森林環境税(千円)	187	187
実績	林業躍進プロジェクト推進会議の開催	4回	4回
	えひめ森林・林業振興プラン実行管理事業	2回	2回
	森林・林業・木材産業現状調査事業	9箇所	9箇所
	事業費(千円)	286	286
	うち森林環境税(千円)	109	109



林業躍進プロジェクト推進会議 (南予地方局)

① 木質バイオマス利用促進事業

林地残材等の利用拡大を図り、中山間地域を支える林業の振興を図るとともに、二酸化炭素排出に問題のある化石燃料の使用削減に効果がある木質バイオマスの利用促進と普及を図ります。

1 ポイント

森林整備により発生し、林内に放置されている林地残材等（根元、変色・腐り材、端材、梢端、雑木、竹材等）の木質バイオマス利用を進めるため、木質バイオマスの搬出利用経費に対する支援を行い、林地残材等を製紙用チップ（燃料用を除く）、木質ペレット、木炭等の原料として安定的に利用する事業を促進するとともに、ペレットストーブを活用して木質バイオマスの利用促進を図るための普及啓発を推進しています。

2 事業内容

(1) 木質バイオマス利用促進事業

事業主体	製紙用チップ(燃料用を除く)、木質ペレット、木炭等の加工・製造者等のうち、安定的な木質バイオマス利用を行う者。 また、加工・製造業者に対し、県森林組合連合会、森林組合、林業事業者等が安定的に木質バイオマスの供給を行う場合は、林業関係者が事業主体となることができる。
補助対象者	森林所有者等（補助金は、事業主体を通じて森林所有者等へ木質バイオマス買取代金とともに交付する。）
補助対象木材	間伐等（主伐を含む）を実施した森林内から搬出し、製紙用チップ(燃料用を除く)、木質ペレット、木炭等の製品原料として、安定的に利用する林地残材等の木質バイオマス
補助単価	補助単価は、①基準単価と②買取単価の差額に対し、3,000円/m ³ を上限として設定する。 ①林地残材等の搬出利用経費の基準単価8,000円/m ³ ②事業主体が設定する買取単価(補助事業開始時に各事業主体と県が協議して決定)
平成26年度実施事業量	11,600m ³

(2) ペレットストーブ普及啓発事業

県施設（各地方局）に設置されたペレットストーブを活用し、広く県民に普及啓発活動を行いました。

(3) ペレットストーブ導入支援事業

公共的施設へのペレットストーブ導入を支援しました。

○補助率等 : 補助率、1/2以内、上限、250千円/台、3台

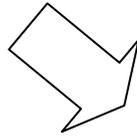
○事業主体 : 公共施設等の管理者

3 平成 26 年度実績 実績額 30,003 千円

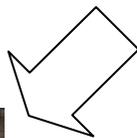
4 事業イメージ



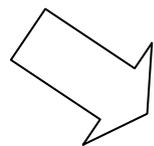
森林整備後放置された低質材



搬出・利用を促進



チップに加工



原紙



5 事業期間 平成 22 年度～平成 26 年度

6 全体計画

事業内容		H22	H23	H24	H25	H26	計
計画	林地残材等の有効利用量	4,800 m ³	9,600 m ³	11,600 m ³	11,600 m ³	11,600m ³	49,200 m ³
	ふれあう人数	1,700人	2,100人	2,500人	2,900人	3,300人	12,500人
	事業費	25,680千円	31,118千円	37,118千円	30,318千円	30,318千円	154,552千円
	うち森林環境税	25,680千円	31,118千円	37,118千円	30,318千円	30,318千円	154,552千円
実績	林地残材等の有効利用量	4,900 m ³	9,464 m ³	11,600 m ³	11,600 m ³	11,600 m ³	49,164m ³
	ふれあう人数	2,310人	6,200人	3,000人	4,323人	4,940人	20,773人
	事業費	24,177千円	30,446千円	35,698千円	29,728千円	30,003千円	150,052千円
	うち森林環境税	24,177千円	30,446千円	35,698千円	29,728千円	30,003千円	150,052千円
実施箇所		県内	県内	県内	県内	県内	

※H22 は、「木質バイオマス利用促進事業」と「木質ペレット利活用促進事業」の合算

② 公共施設木材利用推進事業

地域材を利用した公共施設の整備や内装の木質化及び木の机・椅子の導入などに対して支援を行います。

1 ポイント

地域材を利用した公共施設の整備や内装の木質化及び木の机・椅子の導入などに対して支援を行い、県民に快適な空間を提供するとともに、直接木を見て触れることにより、木材利用に対する理解を深めていきます。

2 事業内容

(1) 木造公共施設整備事業

延床面積 200 m²以上の木造の公共施設の整備に対する補助。

補助率 建設単価が 200 千円/m²を上回る場合に、200 千円と建設単価との差額の 1/2 以内を床面積当り 20 千円/m²を上限として補助

補助金の上限 10,000 千円/施設

(2) 公共施設内装木質化事業

既設又は建築基準法等の基準で木造化不可能な新設の非木造施設の内装（床・壁等）に地域材を使用した場合の木工事費に対する補助

補助率 木工事費の 1/2 以内 補助金の上限 5,000 千円/施設

(3) 木製屋外施設整備事業

公共施設における木造屋外施設（外構施設、木製遊具、学校関連施設等）の整備に対する補助

補助率 施設整備費の 1/2 以内 補助金の上限 3,000 千円/施設

(4) 小規模木造施設整備事業

延床面積 200 m²未満の小規模な木造の公共建築物の整備に対する補助

補助率 施設整備費の 1/2 以内 補助金の上限 3,000 千円/施設

(5) 木の机等整備事業

幼稚園や小中学校及び児童福祉施設等における木の机・椅子等の導入に対する補助

補助率 木の机・椅子 1 組の経費の 1/2 以内 補助金の上限 11 千円/組

※（1）は地域材使用率 80%以上、（2）～（5）は地域材使用率 100%とする。

地域材とは、地域において製材・加工または流通するスギ、ヒノキ、アカマツ、クロマツとする。

3 平成 26 年度実績額

(1) 実績額 11,499 千円

(2) 実施内容

事業内容	事業主体	施設名	施設概要	補助金額
木造公共施設整備事業	八幡浜市	松蔭小学校 屋内運動場	木造 823.6m ²	10,000 千円
小規模木造施設整備事業	松山市	高崎公園 四阿	木造 13.5 m ²	1,298 千円
計		2 施設		11,298 千円

(3) 実施状況



松山市 高崎公園四阿



八幡浜市 松蔭小学校屋内運動場

4 事業期間 平成22年度 ～ 平成26年度

5 全体計画

事業内容		H22	H23	H24	H25	H26	計
計画	整備する施設数	14	12	14	10	10	60
	事業費	24,400千円	48,932千円	32,002千円	36,587千円	11,761千円	153,682千円
	うち森林環境税	24,400千円	48,932千円	32,002千円	36,587千円	11,761千円	153,682千円
実績	整備する施設数	13	12	14	12	2	53
	事業費	17,363千円	46,974千円	30,988千円	28,029千円	11,499千円	134,853千円
	うち森林環境税	17,363千円	46,974千円	30,988千円	28,029千円	11,499千円	134,853千円
実施箇所	木造公共施設整備 久万中学校武道場 (久万高原町) 公共施設内装木質化 岩松小学校、明倫 小学校(宇和島市) 木製屋外施設整備 神前公園、清水公 園(松山市) 小規模木造施設整備 すみれ野北公園、 味栗公園(松山市) 木の机等整備事業 広見中学校、小学 校5校(鬼北町)	木造公共施設整備 今治西部丘陵公園 管理棟(今治市) 新谷小学校校舎 (大洲市) 白浜小学校屋内運 動場(八幡浜市) 公共施設内装木質化 清満小学校、吉田 小学校(宇和島市) 小規模木造施設整備 八白公園(松山市) 木の机等整備事業 広見中学校、小学 校5校(鬼北町)	木造公共施設整備 休日夜間急患セン ター(西条市) 三島小学校屋内運 動場(鬼北町) 公共施設内装木質化 若宮保育園 (新居浜市) 遊子小学校 (宇和島市) 木製屋外施設整備 市民の森 (新居浜市) 小規模木造施設整備 渡海船大島待合所 (新居浜市) 向井公園 (松山市) 長曾池公園 (砥部町) 木の机等整備事業 広見中学校、小学 校5校(鬼北町)	木造公共施設整備 小田小・中学校 校舎(内子町) 松野中学校校舎 (松野町) 公共施設内装木質化 西予市立病院 (西予市) 三間中学校 (宇和島市) 木の机等整備事業 小田小・中学校 (内子町) 好藤小学校 他4校(鬼北町)	木造公共施設整備 松蔭小学校屋内運 動場(八幡浜) 小規模木造施設整備 高崎公園(松山市)		

③ 県立学校校舎等整備事業

校舎等の耐震化の推進に重点をおき、緊急性、必要性を勘案しながら、計画的に整備し、生徒に木材の良さとぬくもりを感じてもらうことを目的としています。

1 ポイント

東南海・南海地震の発生が予測されている中、生徒の安全確保を図るため、旧耐震基準で建築された校舎等を対象に整備を進め、併せて木材のぬくもりにふれることによる情操教育を進めます。
3階建て以上のものはRC造としますが、内装の木質化を図ります。

2 事業内容

学校名	施設名	整備概要
新居浜西高校	本館	(改築) RC造4階 3,636㎡ 内装木質化
長浜高校	体育館	RC造2階 1,242㎡ 内装木質化
松山盲学校	寄宿舎	W造(一部RC造)2階 1,646㎡
松山聾学校	普通教棟	W造1階 396㎡

3 平成26年度実績

- (1) 実績額 32,000千円(平成26年度)
(全体事業費 平成26年度 1,015,053千円、平成27年度計画 1,948,297千円)
- (2) 実施状況

(現在施工中)	
新居浜西高校本館	: 平成28年3月末完成予定(繰越)
長浜高校体育館	: 平成27年5月末完成予定(繰越)
松山盲学校寄宿舎	: 平成27年9月末完成予定(繰越)
松山聾学校普通教棟	: 平成27年3月末完成

4 事業期間 平成22年度 ～ 平成26年度

5 全体計画

事業内容		H22	H23	H24	H25	H26	計
計画	ふれあう人数	4,300人	6,700人	8,100人	9,500人	10,900人	39,500人
	事業費	1,377,063千円	46,051千円	575,855千円	302,868千円	2,525,621千円	4,827,458千円
	うち森林環境税	16,000千円	8,000千円	8,000千円	8,000千円	32,000千円	72,000千円
実績	ふれあう人数	1,989人	3,029人	4,462人	5,439人	7,646人	22,565人
	事業費	607,468千円	40,934千円	509,155千円	114,679千円	1,015,053千円	2,287,289千円
	うち森林環境税	16,000千円	8,000千円	8,000千円	8,000千円	32,000千円	72,000千円
実施箇所		(校舎) 今治工業 (部室) 川之江、新居浜商 業、西条、小松、 松山東、上浮穴、 伊予農業、八幡浜 工業、野村、北宇 和、津島、南宇和	(部室) 新居浜東、新居浜 南、小田	(校舎) みなら特別支援	(体育館) 松山盲	(校舎) 新居浜西、松山聾 (体育館) 長浜 (寄宿舎) 松山盲	

④ 自然公園木製施設整備事業

県内の自然公園において、人と環境に優しい自然素材である木材を使用して、標識、木柵、階段などの公園利用施設を整備します。

1 ポイント

自然公園（瀬戸内海国立公園、石鎚国立公園）等において、県内産木材を使用した公園利用施設を整備することにより、利用者の利便性・安全性の向上を図るとともに、自然とのふれあいの場を通じて、ゆとりと潤いのある県民生活の実現を図り、自然環境の保全に対する理解と関心を深めます。

2 事業内容

自然公園等において、間伐材を用いた標識、柵等の施設を整備する。

○事業主体 県（自然保護課）

公園名	箇所名	市町名	整備内容
瀬戸内海国立公園	開山園地	今治市	木製標識
瀬戸内海国立公園	塔ノ峰園地	今治市	木製標識
瀬戸内海国立公園	梶取ノ鼻	今治市	木製標識
石鎚国立公園	石鎚山公衆トイレ休憩所	西条市	木製標識、ロープ柵
四国のみち環 17	作礼山仙遊寺へのみち	今治市	木製標識
四国のみち環 21	61 番香園寺へのみち	西条市	木製標識
四国のみち環 25	宇摩平野山すそのみち	四国中央市	木製標識
四国のみち環 26	三角寺から椿堂へのみち	四国中央市	木製標識

3 平成26年度実績額 4, 292千円

木製標識



瀬戸内海国立公園
開山園地（今治市）

木製標識



瀬戸内海国立公園
塔ノ峰園地（今治市）

木製標識



瀬戸内海国立公園
梶取ノ鼻（今治市）

木製標識、ロープ柵



石鎚国立公園
石鎚山公衆トイレ休憩所（西条市）

木製標識



四国のみち環 17
作礼山仙遊寺へのみち（今治市）

木製標識



四国のみち環 21
61 番香園寺へのみち（西条市）

木製標識



四国のみち環 21

61 番香園寺へのみち (西条市)

木製標識



四国のみち環 21

61 番香園寺へのみち (西条市)

木製標識



四国のみち環 21

61 番香園寺へのみち (西条市)

木製標識



四国のみち環 25

宇摩平野山すそのみち (四国中央市)

木製標識



四国の環 26

三角寺から椿堂へのみち (四国中央市)

4 事業期間

平成22年度 ~ 平成26年度

5 全体計画

事業内容		H22	H23	H24	H25	H26	計
計画	木材使用量	5 m ³	5 m ³	5 m ³	5 m ³	5 m ³	25 m ³
	事業費	4,800 千円	5,000 千円	5,000 千円	4,600 千円	4,600 千円	24,000千円
	うち森林環境税	4,800 千円	5,000 千円	5,000 千円	4,600 千円	4,600 千円	24,000千円
実績	木材使用量	7m3	5m3	4m3	5m3	3m3	24m3
	事業費	4,388 千円	4,534 千円	4,333 千円	4,499 千円	4,292 千円	22,046千円
	うち森林環境税	4,388 千円	4,534 千円	4,333 千円	4,499 千円	4,292 千円	22,046千円
実施箇所		瀬戸内海国立公園、足摺宇和海国立公園、奥道後玉川県立自然公園、四国カルスト県立自然公園、血ヶ嶺連峰県立自然公園	石鎚国立公園、佐田岬半島宇和海県立自然公園、四国カルスト県立自然公園、四国のみち	足摺宇和海国立公園、奥道後玉川県立自然公園、四国カルスト県立自然公園、四国のみち、自然海浜保全地区	足摺宇和海国立公園、佐田岬半島宇和海県立自然公園、四国カルスト県立自然公園、四国のみち、等	瀬戸内海国立公園、石鎚国立公園、四国のみち	

⑤ 木の香る公園施設整備事業

利用者に優しい木材を使用した公園施設の整備を進めていきます。

1 ポイント

「木をつかう」事業の一環として、県管理の都市公園において、休憩所やベンチなどの新たな施設を木製品で整備することにより、利用者が優しく暖かみを感じることができる公園の整備を進めるとともに、景観的にも周囲の樹木と調和した緑豊かな安らぎ空間を提供するものである。

※県管理の都市公園

愛媛県総合運動公園（とべ動物園を含む）、道後公園、南予レクリエーション都市公園

2 事業内容

- 事業箇所 第1号南予レクリエーション都市公園
(宇和島市津島町近家)
- 施設概要 サイン 1式
- 整備効果 平成元年に「日本の都市公園100選」に選ばれた第1号南予レクリエーション都市公園の南楽園は、四国最大規模の日本庭園であり、年間7万人が訪れる県内有数の集客施設である。この南楽園において、木製のサイン(案内看板)を整備することにより、来園者に対し、周辺景観と調和した憩いと安らぎの空間を提供するとともに、公園の魅力を向上させる。

また、さまざまな人々が集い、ふれあいの場となる都市公園に間伐材を利用した施設を設置することは、木材に対する理解や関心を深めることになる。

3 平成26年度実績

(1) 実施額 2,700千円

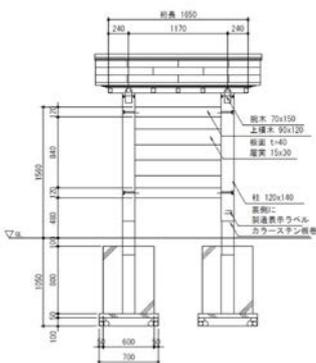
(2) 実施内容

公園名・地区名	事業主体	事業内容	事業費	備考
第1号南予レクリエーション都市公園	愛媛県	木製サイン (案内看板)一式	2,700千円	
計			2,700千円	

(3) 実施状況



施行箇所（施行前）



完成



完成

4 事業期間 平成 22 年度 ～ 平成 26 年度

5 全体計画

事業内容		H22	H23	H24	H25	H26	計
計画	ふれあう人数	120,000人	30,000人	5,000人	104,000人	37,000人	296,000人
	事業費	5,000千円	3,000千円	3,000千円	2,700千円	2,700千円	16,400千円
	うち森林環境税	5,000千円	3,000千円	3,000千円	2,700千円	2,700千円	16,400千円
実績	ふれあう人数	112,000人	34,000人	7,700人	99,000人	36,000人	288,700人
	事業費	5,000千円	3,000千円	3,000千円	2,700千円	2,700千円	16,400千円
	うち森林環境税	5,000千円	3,000千円	3,000千円	2,700千円	2,700千円	16,400千円
実施箇所	とべ動物園 (カガール舎) 動物用日陰施設 1 式	県総合運動公園 (こども広場) 木製公園施設 1 式 (東屋 1基)	第1号南レク公園 (南楽園) 木製公園施設 1 式 (東屋 1基)	とべ動物園 (モンキータウン) 木製公園施設 1 式 (東屋 1基)	南レク公園 木製公園施設 1 式 (案内看板 1式)		

⑥ えひめ材住宅普及啓発事業

県産材や木造住宅の良さを普及啓発する相談窓口の開設・運営や県産材製品を利用する住宅等の新築及びリフォームを支援するとともに、新たな構造材の開発・普及を進める。

1 ポイント

木材や木造住宅の良さを普及啓発する相談窓口の開設・運営や良質な県産材製品を利用する住宅等の新築及びリフォームを支援するとともに、新たな構造材（横架材）の開発・普及を進め、住宅等における県産材の需要拡大を図り、木材利用による持続的な森林整備を推進します。

2 事業内容

(1) 木と暮らしの相談窓口開設支援事業

木造住宅や木材利用全般に関する相談窓口を開設し、県産材や木造住宅の良さを普及啓発する活動を支援する。

- ①相談窓口の設置（常設） ②研修会等の開催（設計・施工者向け） ③出前木材利用相談窓口
- ④見学会の開催（消費者向け） ⑤住宅関係の情報発信（イベント出展、HP等） ⑥木をつかう教育等の促進

(2) えひめ材の家づくり促進支援事業

住宅を建設する施主に対して、県産柱材を無償提供する。

- 提供柱材 1棟当たり 80本以内（184千円/棟）、支援棟数 300棟

(3) 住宅等リフォーム木材利用促進事業

個人住宅や店舗等のリフォームを行う施主に対して、県産材製品の利用を支援する。

- 支援内容 住宅等 1件当たり 100,000円（下限）～ 140,000円（上限）、支援棟数 100棟

(4) 新たな構造材開発普及事業

林業研究センターが、県産スギ・ヒノキの柱材等を活用した新たな横架材（接着積層材：重ね梁）を開発・普及する。

3 平成 26 年度実績

(1) 実績額 70,982千円

(2) 実施内容

○木と暮らしの相談窓口の開設

相談受付時間 9:00～17:00（休館日：日、祝日）

木造住宅に関する専門相談

○えひめ材の家づくり促進支援事業

木造住宅を建設する施主に対して、県産柱材 80本を無償提供（300棟）

○住宅等リフォーム木材利用促進事業

個人住宅や店舗等のリフォームを行う施主に対して、県産材製品の利用を支援（60棟）

○新たな構造材開発普及事業

林業研究センターが、県産スギ・ヒノキの柱材等を活用した新たな横架材（接着積層材：重ね梁）を開発・普及する。

(3) 実施状況



えひめ材の家づくり促進支援事業



えひめ材の家づくり促進支援事業



住宅等リフォーム木材利用促進事業



住宅等リフォーム木材利用促進事業

4 事業期間 平成22年度 ～ 平成26年度

5 全体計画

事業内容		H22	H23	H24	H25	H26	計
計画	相談窓口相談件数	600	600	600	600	600	3,000
	柱材提供件数	200	200	300	200	300	1,200
	公共的スペース製品提供件数	5	3	2	—	—	10
	住宅等リフォーム木材利用件数	—	—	—	50	100	150
	事業費	46,800千円	44,730千円	62,970千円	49,090千円	76,940千円	280,530千円
	うち森林環境税	46,800千円	44,730千円	62,970千円	49,090千円	76,940千円	280,530千円
実績	相談窓口相談件数	947	961	975	989	698	4,570
	柱材提供件数	200	150	317	200	300	1,167
	公共的スペース製品提供件数	5	3	1	—	—	9
	住宅等リフォーム木材利用件数	—	—	—	50	60	110
	事業費	45,981千円	35,102千円	64,814千円	48,972千円	70,982千円	265,851千円
	うち森林環境税	45,981千円	35,102千円	64,814千円	48,972千円	70,982千円	265,851千円
実施箇所 (公共的スペース製品提供)	ほんからどんどん(今治市) ぎんこい市場(松山市) ツググン重信(東温市) 京の森(内子町) 広見森の三角ぼうし(鬼北町)	JR 菊間駅(今治市) クールスマール(東温市) きなはいや城川(西予市)	八幡浜地域拠点交流施設(八幡浜市)	—	—	—	

※平成25年度からは、住宅等リフォーム木材利用促進事業と統合。

⑦ 原木乾しいたけ等生産促進事業

里山に造成されたクヌギ等の豊富な広葉樹をしいたけ等の原木として有効に循環利用するため、しいたけ等の生産者を育成するとともに、新植ほだ木生産や施設整備経費を支援し、乾しいたけ等の生産振興による山村の活性化と広葉樹林の整備を促進します。

1 ポイント

原木しいたけ等の生産に関心のある方や既存生産者を対象に、生産技術講習会等を開催し、生産者の育成を図るとともに、原木の導入経費や、生産・加工施設の整備に要する経費に対し支援を行います。

また、大径クヌギ林の効率的な伐採・搬出と低コストでの更新技術の確立・普及を図り、広葉樹林の整備と資源の有効活用の促進を目指します。

2 事業内容

(1) 原木しいたけ生産者育成対策事業	<ul style="list-style-type: none"> ・原木しいたけ新規生産者技術講習会・生産実習（年6回開催） ・原木しいたけ生産技術向上研修会（年6回開催） ・原木しいたけ流通販売対策講座（年1回開催）
(2) 原木乾しいたけ等生産拡大支援事業	<p>○原木生産拡大支援事業 新植ほだ木本数を 1,000 本以上新規生産又は拡大する生産者に対する支援。（補助金上限額 250 千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新植ほだ木 100 本当たり 5,000 円以内（しいたけ） ・新植ほだ木 100 本当たり 3,000 円以内（しいたけ以外） <p>○原木乾しいたけ等生産・加工施設整備支援事業 原木生産拡大支援事業の助成を受ける者、又は、過去 3 年間平均 2,000 本/年以上ほだ木を更新している既存生産者が、原木乾しいたけ等の生産・加工施設整備を行う場合、その整備に要する経費を支援（補助金上限額 250 千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乾燥機、散水施設、防風施設、人工ほだ場、作業路、スライサー、植菌機、しいたけ運搬車等の整備に係る経費の 1/3 以内
(3) 大径クヌギ林有効活用促進事業	<p>○広葉樹林の整備と資源の有効活用を促進するため、大径クヌギ林を効率的に伐採・搬出し、低コストで更新する技術の確立と普及を図り、林業事業体の原木供給事業への参入を促すとともに、しいたけ生産に係る労働強度の低減と原木の安定供給体制の構築を目指す。</p>

3 平成 26 年度実績

(1) 実績額 23,799 千円

(2) 実施状況



原木しいたけ生産者育成対策事業

4 事業期間 平成22年度～平成26年度

5 全体計画

事業内容		H22	H23	H24	H25	H26	計
計画	木とふれあう人数 (新規生産者講習・ 実習受講者)	200人	200人	200人	200人	200人	1,000人
	木材使用量	2,300m ³	11,500m ³				
	事業費	28,760千円	22,960千円	24,600千円	24,150千円	23,827千円	124,297千円
	うち森林環境税	28,760千円	22,960千円	24,600千円	24,150千円	23,827千円	124,297千円
実績	木とふれあう人数 (新規生産者講習・ 実習受講者)	211人	672人	493人	491人	436人	2,303人
	木材使用量	3,600m ³	1,850m ³	1,825m ³	1,500m ³	2,300m ³	11,075m ³
	事業費	28,734千円	22,948千円	24,250千円	16,035千円	23,799千円	115,766千円
	うち森林環境税	28,734千円	22,948千円	24,250千円	16,035千円	23,799千円	115,766千円
実施箇所	えひめ森林公園 愛媛県森林組合連 合会中野事業所 ほか	えひめ森林公園 愛媛県森林組合連 合会中野事業所 ほか	えひめ森林公園 愛媛県森林組合連 合会中野事業所 ほか	えひめ森林公園 愛媛県森林組合連 合会中野事業所 ほか	えひめ森林公園 愛媛県森林組合連 合会中野事業所 ほか	えひめ森林公園 愛媛県森林組合連 合会中野事業所 ほか	

⑧ 愛媛県産材製品市場開拓促進事業

信頼性のある県産材の販売体制整備や大消費地での市場開拓と新たな商品・利用方法の開発に対する支援を行い、県産材の需要拡大を通じ、林業経営の安定と森林整備を推進します。

1 ポイント

愛媛県産材製品市場開拓協議会が行う3大都市圏等の大消費地における販路拡大を支援するとともに、民間企業等が行う新たな商品や利用方法の開発を支援し、県産材の需要拡大を促進する。

2 事業内容

【市場開拓協議会 実施事業】

(1) 販売体制整備事業

- 3大都市圏等における大手商社・住宅メーカー等に対するセールス等の実施
- 県産材製品の共同出荷・販売の体制整備

(2) 市場開拓推進事業

- 国内最大の消費地である首都圏における新たな取引を開始する際に、中京・関西圏までの輸送コストと比べて割高となる経費に対する支援を行い、本県から首都圏までの輸送コストを中京圏と同程度の競争条件とし、県産材の販路拡大を図る。

製品1m³当たり補助単価 1年目:2,000円/m³、2年目:1,000円/m³、3年目:補助終了(自立)

【民間企業等 実施事業】

(3) 新たな県産材利用促進事業

- 民間企業等のアイデアを活かした新たな県産材利用商品や利用方法の開発を支援(製材製品以外の商品等を対象)

1件当たり1,000千円以内の補助

【愛媛県 実施事業】

(4) 愛媛県産材販売促進事業

- 知事トップセールスの実施
対象企業 第1回(H26.8.28) ナイス株式会社、双日建材株式会社、住友林業株式会社

○県産材マッチング商談会

(1) 第1回(H26.6.26~27)

- ・参加企業 木材業者・プレカット工場等 10社(本県からの参加企業12社)

(2) 第2回(H26.10.23)

- ・参加企業 東北地域の木材業者・プレカット工場等 9社(本県からの参加企業8社)

(3) 第3回(H26.11.12~14)

- ・ジャパンホームショーに併せて実施。約171件のアンケートを回収し、有力と見られる木材需要者13社に絞込み営業活動を実施

3 平成26年度実績

(1) 実績額 14,438千円

(2) 実施内容

○販売体制整備事業

- ・県産材マッチング商談会において営業活動を実施した。
- ・首都圏等の木材需要者に対し営業活動を実施した。

○市場開拓促進事業

- ・協議会の会員から首都圏の住宅メーカー等に対して、新規に県産材の取引を開始した。
取引量 2年目 7,796m³(うち補助対象7,000m³) 補助金額 7,000千円

○新たな県産材利用促進事業

- ・民間企業等において県産材を利用した新たな商品開発を行った。

事業主体	実施内容	補助金額
建築工房たかとり株式会社	県産材を活用した小規模住宅、別荘、事務所等向けのボックス連結ハウスの開発	1,000千円
八幡浜漁協同組合	県産材を活用した養殖いけすの開発と普及	1,000千円
計		2,000千円

(3) 実施状況



知事トップセールス



マッチング商談会

4 事業期間 平成22年度 ～ 平成26年度

5 全体計画

事業内容		H22	H23	H24	H25	H26	計
計画	市場開拓を支援する製品材積	2,000m ³	6,000m ³	11,000m ³	14,000m ³	7,000m ³	40,000m ³
	新たな県産材利用件数	2	2	2	2	2	10
	事業費	7,860千円	17,000千円	25,500千円	28,000千円	15,500千円	93,860千円
	うち森林環境税	7,860千円	17,000千円	25,500千円	28,000千円	15,500千円	93,860千円
実績	市場開拓を支援する製品材積	3,598m ³ (1,865m ³)	7,526m ³ (5,785m ³)	12,145m ³ (10,705m ³)	16,903m ³ (14,000m ³)	7,796m ³ (7,000m ³)	47,968m ³ (39,355m ³)
	新たな県産材利用件数	4	5	3	2	2	14
	事業費	7,305千円	16,979千円	24,080千円	27,390千円	14,438千円	90,192千円
	うち森林環境税	7,305千円	16,979千円	24,080千円	27,390千円	14,438千円	90,192千円

実績の()は補助対象分で内数